



# 議会だより

[題字] 田所 瑞子さん (東田原行政区)

第131号  
**かわさき**  
平成30年8月1日発行  
福岡県川崎町

みんなのねがいが  
かないますように



▲同和保育所 七夕かざり (P16へ)

**6月**  
定例会議

小学校の担任解任を求める決議	2
8人の議員が登壇 ～ 一般質問 ～	4
もっと知りたい委員会レポート	12

今年度の議会だよりの表紙は、「大好き かわさき町」がテーマです。  
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください  
[お問合わせ] 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



## 補正予算

### 特産品開発委託料、農機具倉庫建設など可決

一般会計の増額補正額は**4663万円**で、総額は**113億6629万円**となりました。歳入の主なものは国と県の補助金が合わせて**2216万円**、町債が**160万円**、繰入金が**2097万円**、諸収入が**191万円**となっています。

#### 歳入の主なものは

**まちづくり推進費 / 69万円**

#### マインドスポーツ事業

関西からプロ棋士を招聘し将棋大会を開催。

#### 町民フェスティバル事業

フェスティバルの開催。ハロウィンウォーキングの開催など。

**保険体育総務費 / 10万円**

#### ジュニアゴルフクラブ助成

11名のジュニアゴルフクラブ助成金

**農業振興費 / 4358万円**

#### 特産品開発事業

開発委託料を480万円追加して1400万円にする。

また、休眠中の「農産物加工所」を特産品開発の拠点とするための修繕費用。

エアコンの設置や冷蔵庫、調理器具の購入等。

#### 農機具倉庫設置

上真崎の焼却場予定地だった用地の有効利用として、農機具倉庫を建設し、農機具備品を購入。

**観光総務費 / 176万円**

#### 観光協会事務所移転

移転に伴う運営負担金31万円

**パン博の追加補助金 145万円**

**非常備消防費 / 191万円**

#### 自主防災組織への助成

自主防災組織設立(安宅行政区)に対する助成金

## 決議

### 川崎東小学校6年2組の担任解任を求める決議

賛成13:反対1、賛成多数で可決。

#### 賛成(繁永英樹議員)

数年間数10人の生徒児童が学力を得られず、1年間で教科書が5ページしか進行していない状況で中学生生活を迎えている。完全に法令を違反している状態が現在も続いている。

#### 反対(櫻井英夫議員)

議会が解任決議をするよりも、さらに調査をし当該の先生にも話を聞いて教育委員会が判断をする事で良いのでは。

#### 提案理由

民生文教常任委員会では、3年程前から「教科書にそった学習が行われていない」との保護者からの声を聴き、現場に赴き、抜本的解決を促してきたが、残念ながら改善が見られず、保護者から担任解任・変更の要望が出てきました。児童の学力、人格形成向上に影響が出ていると推測され早急に何らかの措置の必要性を感じ、教務課及び学校の管理、指導が有効的に働かなかつたと受け止め改善を要望する。

## 意見書

### 廃校を利用した県立特別支援学校高等部の新設を求める意見書

平成32年3月に廃校予定の池尻中学校の施設を活用し、川崎町の県立支援学校の高等部を設ける意見書を県に提出しました。なお、肢体不自由の生徒も受け入れ可能な教育環境の整備もあわせて要望しました。

## 平成30年度 第1回川崎町議会(5月会議)

### 議案一覧と賛否結果

議案番号	案件名	賛否の結果												関連記事				
		手嶋真	松岡	繁永	大谷	西山	千谷	小口	見田	原月	手嶋康	櫻井	寺田		奈木野	樋口		
報告第1号	専決処分の報告について(川崎町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例)															報告のため採決はありませんでした		
報告第2号	専決処分の報告について(川崎町税条例等の一部を改正する条例)															報告のため採決はありませんでした		
報告第3号	専決処分の報告について(川崎町国民健康保険税条例及び川崎町国民健康保険条例の一部を改正する条例)															報告のため採決はありませんでした		
議案第1号	川崎町教育委員会教育長の任命について															(讚井 明夫)	(同意)簡易表決	

## 平成30年度 第2回川崎町議会(6月定例会議)

### 議案一覧と賛否結果

議案番号	案件名	賛否の結果												関連記事			
		手嶋真	松岡	繁永	大谷	西山	千谷	小口	見田	原月	手嶋康	櫻井	寺田		奈木野	樋口	
発委第1号	川崎東小学校6年2組の担任解任を求める決議	賛	休	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛		P2
報告第4号	専決処分の報告について(平成30年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第1号))															報告のため採決はありませんでした	
報告第5号	専決処分の報告について(平成30年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号))															報告のため採決はありませんでした	
報告第6号	専決処分の報告について(平成30年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号))															報告のため採決はありませんでした	
報告第7号	平成29年度川崎町継続費繰越計算書について															報告のため採決はありませんでした	
報告第8号	平成29年度川崎町繰越明許費繰越計算書について															報告のため採決はありませんでした	
報告第9号	放棄した債権の報告について															報告のため採決はありませんでした	
議案第2号	福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県自治会館管理組合規約の変更について															(可決)簡易表決	
議案第3号	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更について															(可決)簡易表決	
議案第4号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について															(可決)簡易表決	
議案第5号	川崎町職員定数条例の一部を改正する条例について															(可決)簡易表決	
議案第6号	川崎町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について															(可決)簡易表決	
議案第7号	川崎町大型共同作業場等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について															(可決)簡易表決	
議案第8号	川崎町先端設備等の導入の促進に関する基本計画について															(可決)簡易表決	
議案第9号	平成30年度川崎町一般会計補正予算(第1号)について															(可決)簡易表決	P2
発議第1号	廃校を活用した県立特別支援学校高等部の新設を求める意見書の提出について															(可決)簡易表決	P2

賛否表の表示は、賛…賛成、否…反対、休…欠席、退…退席、除…<sup>じよせき</sup>除斥となっています。

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

※除斥とは…利害関係のある議員を、その議案の審議に参加させないことです。

# 一般質問

よりよいまちづくりを  
めざして

問  
町政を

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。



谷口 武雄 議員

## 問 働き方改革に本腰を

## 答 積極的に活用していきたい

**議員** 文部科学省が学校教員の働き方改革に本腰を入れています。2017年末に公表した緊急対策では、教員が本来担うべき業務を明確化し、該当の役割分担を推進する方向性を打ち出しました。既に支援スタッフの充実や部活動の地域活動化に取り組み、効果を上げている自治体も多くあります。

文部省は、これを参考に18年度予算案で、教員の事務を補佐するスクールサポートスタッフの全国配置を始めることになりました。

ここで讃井教育長にお尋ねを致します。1点目は、タイムカードの活用で教員の勤務時間管理を徹底。

2点目に、夏休みに一定期間の学校閉庁日を設定する。

3点目に、部活動指導員や教育業務を補助する外部人材を積極的に参加させる。以上3項目について教育長の答弁をお願いします。

**教育長** お尋ね1点目のタイムカードの件ですが、本年4月より小中学校に導入しました。

2点目の学校閉庁日については、本年度は8月13日、14日、15日の3

日間とさせていただいております。

3点目の部活動の問題ですが、学校の要望に応じて外部講師を県に申請し許可ができれば、積極的に活用していきたい。

## 問 人口減少対策について

## 答 住み良い地域づくりを推進します

**議員** 現在、川崎町も高齢化が進み、65歳以上の男性が2465名、女性が3549名と合計で6014名です。

町全体の高齢化率は35.47%と、全国水準、27.3%をかなり上回った高齢化社会です。

高齢者のサービスの一環として1つの窓口で、役場の用事が全て終る、高齢者専用課の設置をしておりますか。

**町長** 先進的に実施している自治体の調査を行い、可能であるか、今後検討して参ります。また、前段の人口減少対策については、川崎町で産み育て、将来にわたって住み続けられる様な地域づくりを進めて参ります。



▲川崎町敬老会風景



西山 賢俊 議員

## 問 国道322号バイパスの全線開通の見通しは

## 答 平成31年度、全線開通の見通し

**議員** 国道322号バイパスの全線開通は、田川地区住民の大きな願いだと思っています。その進捗状況を尋ねます。

また、その国道と交わる田原交差点は、右折レーンが無いために、交通渋滞が多い交差点です。右折レーンが、出来ないのでしょうか。

**町長** 私たち、田川市町村長は、国道201号線の整備、国道322号線の早期開通を目指し、積極的に要望活動を展開しました。322号線バイパスは、平成31年度共用開始は間違いないと思います。

右折レーンの新設につきましては、調査測量が終了して完了です。用地買収が出来れば、32年度から33年度にかけて工事を施工して完了させる予定で進んでいる状況です。

## 問 来期の町長選に立候補をしますか

## 答 体力の衰えを感じ立候補しません

**議員** 体力の衰えを感じ立候補しないとの事理解できます。残された約10カ月どの様な町政を行っていきたく思いますか。

**町長** ふり返ってみますと、町議会議員4期16年、県議会議員4期16年、町長2期8年の政治活動でした。



▲渋滞する田原交差点

初めて町長に就任した当時は、川崎町が九州で3つしかない連結の赤字の団体でありました。なんとこの連結の赤字を乗り越えていかなければいけないと。県のほうからも、町長さん何とかこの財政健全化に向けて頑張ってくださいというようにもございました。その当時の赤字の団体というのは、中国地方ではどこにもありません。四国に3つ、それから九州が3つ、それから沖縄が1つ。合計、中国、四国九州、沖縄で7つの連結の赤字の団体があった。そのうちの1つが川崎町です。

おかげで、議会の皆さんの御協力をいただきながら、財政健全化に向けて取り組んで、そして3年かかりましたけれども、黒字化に転換するこ

とができました。

また私の町長任期中に、塵芥処理場、水道事業の田川地区広域での取り組みが決定し良かったと思っています。町内をみますと、総合福祉センターの建設、超高速プロード整備事業、川崎3中学校統合が実現しました。残された期間、これらの完成に向けて努力します。

そして議員の皆様からの指摘にもあります、内部の機構改革に取り組んで、将来職員定数の削減につながる様にしたいと思います。

今年は、町制施行80周年という年でもありますし、様々な記念事業を実施しながら将来の川崎町を見据えて、しっかりやっつけていかなければならないということで取り組みをしています。



松岡 久代 議員

## 問 小・中学生の海外研修の今

## 答 財政問題を踏まえ検討課題に

**議員** 子どもたちから海外研修の  
声が聞こえてこない。現在  
どうなっていますか。

昭和の時代から少年の船、沖縄研  
修があり戦争の悲惨さを見聞、貴重  
な体験をし、家庭の負担も5万円は  
かかったと思います。スタッフも  
役場職員や民間から募集で構成さ  
れ、真剣に子どもたちと向き合い面  
倒を見ていたスタッフ同士ですの  
で、何組か結婚した方もいました。  
平成15年以降は韓国へ飛行機で小  
中学生を派遣させていましたが、現  
在はどうなっているのか尋ねます。

**町長** 川崎町少年海外研修事業は、  
海外研修の体験を通し、異国  
の文化や生活など伝統に触れること  
により、国際的視野を広めることを目的  
として、平成16・18年度、計2回実施し  
ています。研修先は、大韓民国ソウル、  
チュンチョン等で3泊4日の研修、参加  
費は小学生1万円、中学生1万5千円  
で、町の負担金も高額800万円。

平成22年・24年度はB&G海洋事業  
の助成を活用し、川崎町青少年小笠  
原研修を2回実施。現在では、この  
事業も廃止。

本年度、青少年に対する国際交流  
を目的に、世界各地を回って子ども  
たちと一緒に創作ダンスを行う団体  
「ヤングアメリカンズ」を招き、来年3月  
に町内の中学1年生を対象とした公  
演を行う予定。その際、ホームステイ

先であるホストファミリーを募り国際  
交流を深めたいと考えております。

海外研修については、大変有意義  
と理解しておりますが、町の財政状況  
を考慮しながら、今後の検討課題に  
したいと思います。

**議員** 知る限り「翔け子ども基金」  
の3億5千万が三井の還流  
金として積立がありました。子  
どもたちが互いに交流し、全く違った  
文化や生活習慣の中で、短い期間で  
あっても打ち解け合えることが一  
番、待つのではなく子どもたちを海  
外研修に参加させる川崎町であ  
ってほしい。

**町長** 海外研修といっても全員が  
行ける訳ではないので、外国  
人と触れる状況として「ヤングアメ  
リカンズ」が川崎町に来ますが、本来  
なら300万円ぐらいかかるところで  
すが、ついなので費用がかからな  
く、ホームステイで家庭と触れ合  
いがどの程度効果があるのか今後対応  
を考えたいと思います。

**議員** お預かりするのもいいです  
が、文化の違った外国でホ  
ムステイさせることが一番。日本  
の良さも行って初めて分かる。  
ホームステイさせることも大事で  
すが、他所の家庭を覗くのも大事と  
思うので、川崎町の子どもたちを招  
いてくれる繋がりをつくっていただ  
きたい。

**町長** 私の子どもも少年の船で沖縄  
に行き、本当に子どもたちが  
喜んでおり、事前研修から事後研修  
と船の生活を共にし、新しい絆が生  
まれてみんなで旅することは非常に  
いいことだと思っています。財政問  
題を踏まえ、ご意見についても十分に  
検討に値すると思っています。

## 問 本物に触れる観劇の 継続は

## 答 可能な限り継続してい きたい

**議員** 財政的な面もあると思うが、  
劇団四季のミュージカルに  
中学生を観劇させているのか。

**教育長** 中学3年生を劇団四季の  
ミュージカルに平成17年度  
から、多分、翔け子ども基金を利用  
して始めたと思うが、実施して14年  
目になる。日常生活の中では体験  
することの出来ない本物の芸術に  
触れることで、生徒の情操教育の向  
上を目指し現在まで続けています。  
生徒の人生にとって本当に感動し、  
衝撃を受け、その体験が次の生き方  
にも影響し、劇団員になろうと言  
った生徒もいます。

川崎町の子どもたちの生活環境  
は文化的なところに非常に厳しい  
状況がありますので、今後の人生の  
転機になりうるものと考えている。



千葉 加代子 議員

## 問 健康寿命の延伸を

## 答 健康づくり事業を展開する

**議員** 健康寿命は、健康上の問題で  
日常生活が制限されること  
なく生きられる期間です。長生き  
をしても不健康な期間が長くなる  
と、医療費や介護給付費も多くか  
かり個人負担も増え、社会保障シ  
ステムの維持も困難です。本町では  
どのような取組みをしていますか。

**町長** 国保の健診結果を受けての  
説明会の実施、15地区の公  
民館での「わいわい健康クラブ」、運  
動普及推進員による運動教室、食  
進会員による「プチ食育館」で健康食  
の提供等を実施し、総合的な施策と  
して健康づくり事業の展開を考え  
ています。

**議員** ボランティア活動や仕事、仲  
間との交流等、社会的ネット  
ワークが重要になりますが、今後の  
展開は。

**町長** ボランティアセンターの立  
ち上げを計画していますの  
で、積極的に登録していただき、高  
齢になっても地域に出て行って、生  
き甲斐を見い出せるような取組み  
を推進していきたい。



## 問 性教育の今後の取組みは

## 答 保健教育の充実をはかる

**議員** 10代で出産し未婚のまま子  
育てをしている女性や望ま  
ない妊娠をし、墮胎する費用がなく  
出産するケースもあります。本町  
の性教育の現状は。

**教育長** 成長段階で、保健体育の授  
業で教科書に沿って教えて  
おります。性についての悩みは、打  
ち明けられないのが課題です。ス  
クールカウンセラーの活用につ  
いて各学校に働きかけていきたい。

**議員** 秋田県では、性感染症や望ま  
ない妊娠を避けるために、必  
要な時期に性に関する正しい知識  
を学ぶ取組みをし、10代の人工妊  
娠中絶率が下がりました。医師の  
出前講座等の取り入れは。

**教育長** 正しい性のあり方を知るこ  
とは必要ですので、出前講座  
等を含めて、保健教育の充実を図  
っていききたい。

## 問 不登校の子どもの対応は

## 答 把握をし、登校を促している

**議員** 不登校の子どものが、多いと思  
いますが、どのような対応を  
し、現在、改善されているのでし  
ょうか。

**教育長** 3年前は3桁ありましたが、  
人権・同和教育担当者が担当

し、登校を促す仕事をしています。教  
育委員会では、毎月の出席簿の提出  
を求め、出欠状況を把握し、担任、人  
権・同和教育担当者が生徒及び保護  
者にアプローチをし、場合によっては  
子育て支援係、児童相談所等の行政  
機関とも連携をとりながら、学校に行  
くよう働きかけをしています。よう  
やく60台を昨年切ったので、把握も  
でき、対策もとっています。

**議員** 県の青少年プランでは、貧困  
状態にある子どもの学習や  
保護者の就労支援が盛り込まれて  
いますが、周知等は。

**教育長** 保護者会等での周知など、今  
後検討したい。

## 問 引きこもり等の対策は

## 答 関係機関と連携して対応

**議員** 20歳以上59歳以下のSNEP  
という、未婚で無業の人が急  
激に増え、将来孤独死やホームレス  
の予備軍になります。就業支援や  
引きこもりに対する相談窓口はあ  
りますか。

**町長** 町と委託契約をした地域活  
動支援事業者が相談を受け  
ています。田川保健福祉事務所、県  
立大学の心理相談学室でも受け付  
けています。関係機関と連携しな  
がら相談者への対応、周知をしてい  
きたい。



手嶋 真由美 議員

## 問 就学援助入学前準備金の支給時期の検討は

## 答 来春から実施に努める

**議員** 昨年6月議会で質問をした就学援助制度の入学前準備金の支給時期について、その後の検討は。

**教育長** いろいろ調査をし、検討すべき点は多少ありますが、支給時期を早める事は可能であり、来春からの実施に努めていきたい。

### 問 中小企業支援制度の活用 の推進を図るべきでは

### 答 事業者を利用してもらえる ように周知していく

**議員** 6月6日に中小企業支援の生産性向上特別措置法案が施行されました。制度の活用を推進するため、どのように情報提供をしていきますか。

**商工観光課長** 広報誌やホームページにわかりやすい内容を掲載し周知を図っていきます。

### 問 高齢者や障がい者対応 の住宅建設を

### 答 大峰団地跡地に平屋建て 住宅の計画を検討

**議員** 高齢者や障がい者対応の町営住宅はいくつありますか。

**町長** 全体戸数は199戸で、その中で車いす対応住宅は4戸あります。

**議員** 車いす対応の住宅を今後増やしていく予定はありますか。

**住宅課長** 現在、建て替えを行っている豊州・大峰団地高層住宅の建設も今後は行ってまいります。また大峰団地については既存住宅跡地に平屋建ての住宅の計画を検討しており、入居予定者に障がいをお持ちの方があられる場合は対応を検討してまいります。

**議員** 川崎町の高齢化は進行中です。これからの状況を考えると高齢者や障がい者にやさしい町づくりのために対応の出来る住宅建設を要望いたします。

**町長** 特別重い障がいがあり車いすでないと生活できない方もおられるので対応の仕方をこれからも考えていきたいと思っております。

### 問 自転車優先道路の確保を

### 答 なかなか一気に進まない現状

**議員** 32年に統合される中学校の通学手段として自転車は不可欠であり、今後は自転車通学の人数は増加をしていきます。自転車を利用されている住民の方も多く、自転車が安心して安全に走行できる自転車優先道路の確保が必要なのではないですか。

**町長** 統合される川崎中学校の正門から永井の生活館付近までは、自転車専用通路を設けてカラー

舗装等で明示するよう考えていますが、それ以外の自転車専用道路の整備については、町の財政状況を考えるとなかなか一気に進まないのが現状です。

**議員** 昨年、福岡県では自転車利用者に自転車保険加入の努力義務が必要になりました。

通学に自転車を利用する生徒には加入が必要ではないですか。

**町長** そういう努力をして頂くという事が必要だと思います。

**議員** 保険加入を町としても何らかの対応で義務化にすると、子どもたちの安全を守るためにも、費用がかかって大変ですが、県の協力をいただきながら道路の整備に対して意欲的に向かっていただきたい。

**町長** 義務化については、これからしっかり教育委員会とも十分協議しながら検討していきたいと思っております。



繁永 英樹 議員

## 問 統合中学校設立に向け、 進行と民意は

## 答 随時ホームページなどでお知らせしている

**議員** 未だに統合中学校を役場周辺に建て、公共施設の再配置をした方が効率的で可能な施策であると信じているのですが、決まった内容でより良いものをという意識で取り組んできました。

その中で、2回の中学校統合準備委員会を傍聴させていただきました。この委員会は、統合中学校に町民の民意や要望を大きく取り入れて、新しい学校に反映させることを目的として設置されました。

しかし、この委員会の構成と体制に大きな問題があることを指摘、改善させるため今回の質問に至りました。

教育長とは、当時は奇抜だと言われた多くの問題を対峙してきました。その多くは不必要と答弁されましたが、時がたった今、私が要望したほとんどが国の方針や命令として一般常識になってきました。

中学校統合委員会の構成は、委員長である教育長を含め32名中、提案に必ず賛成する委員が約80%、町民の立場で民意を唱える委員が20%のみの構成です。民意を反映させる場ではないことを公表させていただきますが、いかがですか。

**教育長** 中学校統合校舎については、6月11日に仮校舎に移転するなど、32年4月開校に向けて順調に進んでいます。

統合中学校の運営等につきましては統合準備委員会の専門部会で協議・検討を行っており、今後は通学路、教育指導計画など3中学校の指導体制の統一化を図ることです。

また、準備委員会での協議内容や経

過・決定事項等は随時ホームページなどでお知らせするとともに、説明会を節目、節目で開催しています。

### 問 教育の充実という 教育委員会のテーマは

**議員** 世界基準というものを子ども達が標準に感じるようになってきました。

必要性を強く訴えてきたインターネット光通信なども、現在は必要不可欠な生活または業務、教育ツールとして標準装備され、企業進出にも第1条件に位置づけられる時代となりました。教育長の高校での経歴については、十分な評価をしていますが、本町は義務教育を担うという役割を持っており、義務教育の中で、町がどのように子ども達に良い環境提供できるかということに重点を置いています。

川崎町も高速インターネット通信が開通しますので、機会を逃さず、教育計画に盛り込み、利便性や生徒の興味を引く多くの可能性を持つICTの活用を、川崎町の生徒・児童全員に提供して、教育のシェア拡大、世界標準の人を育てる環境提供をするべきだと思いますが、いかがでしょうか？

**教育長** 本町では現在、文部科学省の重要施策の一つであるコミュニティ・スクールの導入を行い、地域住民参加型の教育にいち早く取り組んでいます。また、社会を取り巻く環境変化も急速で、ハード面、ソフト面のバランスを考慮し、限られた財源の中で、最良の教育が出来るようにすることが望ましいと考えています。ICT関係でい

ばすでに各校にコンピュータは整備されており、昨年度は各校に一台ずつ電子黒板を導入いたしました。

### 問 手の届きにくい子育て支援は

**議員** どんな厳しい状況に陥っても、一人も置き去りにしないという意志のもと、救済的な食堂設立について現状を伺いたしたいと思います。少子化の中で昨年まで100人くらいの不登校がありました、町や母校から距離の離れた人たちのための回答を伺います。

**町長** 救済的な食堂とは子ども食堂かと思いますが、子ども食堂は子どもやその親、その地域の人々に対して無料または安価で、栄養のある食事や温かな団らんを提供するための場所で、子どもの孤食解消と地域のコミュニケーション充実に向け、町といたしましても開設をされる団体等があった場合については、前向きに支援・協力していくという考え方であります。

### 問 病児病後児保育についての現状は

**議員** 広域ではなく町独自の施設が熱望されています、田川市のひまわりの成果もふまえて必要性を理解いただいた上で方針を伺います。

**町長** 病児病後児保育施設の必要性は十分理解していますが、町単独では財政面、保育士の常駐、小児科医師との連携などで非常に難しいと認識しているため、近隣の町村と連携しながら、子育て支援充実のための広域化で推進したいと思っています。



## 問 家庭内教育の改善を

## 答 コミュニティスクールを推進し関心を高めていく

**議員** 手嶋町政では学力向上の施策として、

- ①小学校と中学校の教職員が合同で学習指導や生徒指導について研修
- ②地域ボランティアが学習支援を行う「学びっこ教室」
- ③小学3年生から6年生を対象に各校で放課後などに週1回程度、教員が指導している「チャレンジ教室」
- ④中学校では放課後に数学や英語の「課外授業」
- ⑤土曜日9時から10時40分まで小学2、3年生を対象に国語・算数のプリント学習を行う「土曜の風」

を実施しています。結果として全国学力調査では27年度と比べ平均5点以上向上していますが、全国、県平均からはまだ10点近くの差があります。

私は教育の核は家庭にあると考えています。現在コミュニティー

スクールを実施して学校、地域、家庭が一体となって教育向上に向けた取り組みを町が率先して行っていますが、もっと家庭内教育(保護者の意識)を高めるための施策が必要であると感じますが、教育長の考えは。

**教育長** 家庭内教育の重点を図るということは、子どもたちにとっては最重要です。コミュニティスクールは、「学校、家庭、地域」で子育てをしていこうと。そのためには一緒に教育目標から教育評価までやっておくところですから、例えば家庭教育に欠陥があれば、どうすればいいかという方策まで立てていこうということです。

まだまだ不十分ですが、コミュニティスクールを推進し、家庭教育の充実のため、まず学校で家庭での教育に関する関心を高めていくことを重点的に今後ともやっていきたいと考えております。

## 問 学力の公表を各小中学校別に

## 答 今年度から学校別に発表

**議員** 平成29年度福岡県教育委員会発表の全国学力調査結果を見てもわかるが、年々プライバシー保護を理由に調査結果が見えにくい状態が続いている。(市町村で各小中学校1校の場合、公表しない、各市町村の学力推移は削除され調査内容が筑豊全体として記載)

現在、川崎町で学力調査の公表は、毎年10月広報にて各小中学校全体平均値を全国平均、県平均と比べ公表しているが、各小中学校別での公表をする必要性を強く感じます。

結果を出した時の問題より、なぜこのような結果になったのかを周知、議論、問題提起をするほうが、今の川崎町では、はるかに重要と考えます。

学力調査の公表・周知について教育長の考えを尋ねる。

**教育長** 今年度からの全国学力・学習状況調査については、小学校、中学校とも学校別で発表します。



## 問 仮校舎にグレードアップが必要か

## 答 グレードアップは考えていない

**議員** 中学統合の課題に関して

- ①川中仮設校舎のグレードアップのための追加工事見積書が徴されているようですがなぜですか。その経緯と内容説明を求めます。
- ②3中学統合により池中、鷹中の使用は平成32年3月で終了します。廃止後の活用計画は進んでいますか。これまでの旧大峰小はどうしますか。
- ③田川地区の中高一貫校の計画は進んでいますか。

**町長** ①受注業者が独自に提案したもので町は要求していません。当初の内容どおりに施工します。

②これまでも答弁している通り、鷹中は史料館に、池中は県立特別支援学校にと考えています。大峰ふれあいセンターの史料館は鷹中に統合し、借地は返還します。

③県知事は県議会で前向きに取り組むと答弁していますが、まだ具体的にはほとんど進んでいません。

## 問 町外郭団体の育成・改廃の方針は

## 答 今後引き続き精査する

**議員** 100%税金で運営されている町の外郭団体にはどんなところがあり、どの様な指導体制がとられていますか。

**町長** 観光協会、鳥獣被害防止協議会などがあります。今後引き続き精査します。

**議員** 私は行政指導や監査などの指導体制を尋ねています。次回また尋ねます。

## 問 人口の過疎化は止められますか

## 答 成果を出せるよう努力します

**議員** 人口減少が続いていますが、

- ①32年度満了する過疎計画への備えはどうなっていますか。
- ②過疎対策には観光政策の充実が肝要。中でも交通網の充実が求め

られます。民間輸送会社との連携はできていますか。

- ③日田彦山線復旧の見通しはどうなっていますか。

**町長** ①国の過疎法の動向を見て対応します。

②交通網は、通勤、通学、観光、レジャー等地域発展に不可欠な財産。民間輸送会社とは定期的な意見交換を行い連携していきます。

③福岡県、大分県、東峰村、添田町、日田市そしてJRの6団体で日田彦山線復旧会議を設置しています。川崎町が直接入る状況ではありません。

## 問 社会教育強化のための基礎調査を

## 答 基礎調査と公民館機能を強化する

**議員** 社会教育が衰退しています。振興策立案のための基礎調査が必要ではありませんか。

**教育長** まずは公民館の充実強化を図るべく中央公民館長を配置したい。

**議員** 最近、公民館長による不祥事が発生したが、対応はどうしますか。

**教育長** まもなく公民館連絡協議会の総会が行われますので、私の方で議案をチェックするなどして適切に対応します。



◀校庭に建つ仮設校舎

# もっと知りたい 委員会レポート

委員会の活動状況を報告します



議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



## 固定資産税の評価状況を調査

### 総務常任委員会

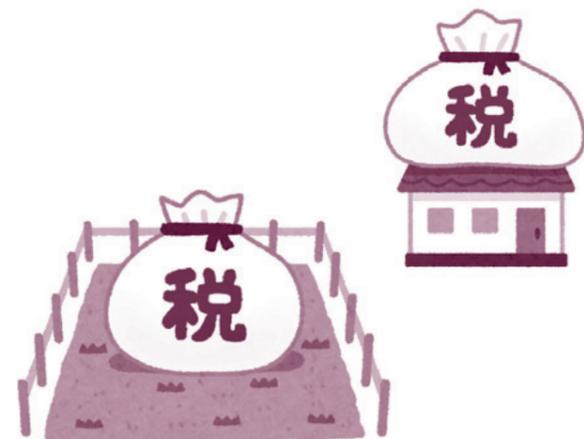
固定資産税は1月1日時点の所有者に対し、その年度の税金が課税されます。

土地の評価額は3年に一度見直しがあり、宅地は、国から示される地価公示価格や市場での取引価格を基に、その7割程度を宅地の評価額としています。また居住用の家屋が建っている宅地の場合は、住宅税負担を軽減することを目的に、固定資産税が軽減されます。

新築家屋の評価は、職員が訪問し、屋根や外壁、内装などの項目ごとに点数を付け、評価額を算出しています。

償却資産は、事業のために使用する事務機器や設備に係る資産ですが、事業所より毎年、取得時の価格を記入した償却資産の申告書を提出してもらい、耐用年数表をもとに評価額を減額し課税しています。

委員からは、放置された土地や家屋が多くなっていく中、的確な課税客体の把握と、相続者不明の土地や家屋については、国や市町村に帰属していくような方策を国に訴えるよう要望いたしました。



### 地域おこし協力隊の活動状況を調査

現在、川崎町にはDe・愛に勤務しながら農産物の販売向上に取り組んでいる方。町のイベントのサポートや着地型ツアーの開発に取り組んでいる方。町のブランド化推進のため、デザイン業務に携わる方。町の特産品開発に取り組んでいる方。町民への英語学習や英語での情報発信を行っている方。以上、5名の協力隊員がそれぞれの分野で活躍されています。

隊員には月額20万円、年間240万円の報酬が支給されるとともに、活動に必要な経費も支給され、これらの財源については交付税措置があります。

委員からは、熱意を持って川崎町に来ていただいた隊員の能力が十分に発揮できるよう町や関係団体のバックアップを要請するとともに、活動に対する成果の評価を行って、公表するよう要請しました。

### 行政改革の進捗状況を調査

愛光園は、現在、入所定員50名に対し、入所者は20名程度で、直近の決算においても職員人件費が事業費の80%を占めています。厳しい状況を踏まえ検討した結果、職員雇用や経営手法の経験を重ねながら、現在、在職している職員が、退職を迎える数年後に民間委託等を検討した方が良いと判断したようです。

また、図書館は他の市町村の先進地の調査などを含め、慎重な検討を行うことが望ましいとの結論に至ったようです。

委員からは、行政改革を更に進めるため、外部の識者を入れた検討委員会の設置を求めるよう要請しました。



## 介護施設等にアンケート調査

### 民生文教常任委員会

川崎町の高齢者福祉に対して町がどのような政策を打ち出して、その成果等を民間の方々がどう感じているだろうか、ということ把握するために川崎町内の介護施設等にアンケート調査を行うことにいたしました。そのアンケート内容については、①川崎町の高齢者福祉は大半を民間企業が支えています、運営に当たり、町の高齢者福祉政策で何か感じたことはありませんか。②包括支援センターや社会福祉協議会について意見があればお聞かせください。③町の主観事業と言えるぐらいの雇用対策を担っている事業ですが、今後の見通しや、気になることがあればお聞かせください。という内容でした。

その調査を行った結果、47事業所中20件の回答がありました。この事業所から送られてきたアンケート回答を社会福祉協議会と地域包括支援センターと行政その3つに分けて、それぞれに対し、アンケートに対する検討結果回答をしてもらうように依頼をいたしました。後日、依頼した検討結果について回答がありました。この検討結果をアンケートを送付した介護施設等すべてに周知することに決定をし、周知方法は、回答文そのままを郵送することといたしました。その送付文書にも、今後もこの問題については委員会として引き続き経緯を見守りながら検証していくこと、また事業所等から要望があれば川崎町議会としてまた当委員会との団体懇談会や意見交換会などを開催する考えがあることを申し添えました。



### 社会福祉協議会と地域包括支援センターとの三者懇談会

上記アンケートに対する検討結果回答を基にして、社会福祉協議会と地域包括支援センターとの懇談会を行いました。懇談会では、社会福祉協議会の現状活動の説明、またボランティアセンターの設立について、ICTを活用した老人福祉の充実、体制の整備、などについて話し合いを行いました。しかしながら、全

体的に高齢者福祉に偏っていて社協の持つべき役割としては、まだ不足している部分が目立ったように感じ、更生資金等の取り扱いなども含め、今後の要望をいたしました。

センター新設に伴い、委員会から地域交流の場として、また福祉協議会に関わり合いを持つきっかけづくりとして、例えばフリーマーケットの開催やお下がり品の交換会、あとバレンタインデーの手作りチョコ作りなどのイベント開催などを提案をいたしました。初めてこういう懇談会を持てましたが、これからもこういう機会を増やして、連絡を密にしていきたいと感じられる、良い結果となりました。



### 小学校のエアコン設置は

小学校に通っている保護者や教師からエアコンの設置が二学期の始業式に間に合わないという連絡がありました。これを受け、教育委員会に対しエアコンの設置時期について確認を行うこと、また同時に子どもたちの教育環境向上のため早急にエアコンの設置を行うよう要望をいたしました。

それを受け、教育委員会からエアコン設置についての質問の回答が提出されました。内容については、財源が今時点でもまだ確定していないということでエアコンの設置に至る時期を明確にできないということでした。

### 小学校教諭への協議

小学校教諭の問題について協議が行われました。この教諭については、教育委員会からもたびたび改善命令が出ているようですが、いまだに改善には至っておらず多くの保護者の方から実名で委員会に要望が寄せられている次第であります。



## 川崎町水道事業の現状は

水道事業は、昭和32年に認可を受け、昭和34年から給水が開始され、現在の給水人口は約1万6000人で、8500世帯であると説明を受けました。

今回は、川崎水源地、川崎浄水場、島廻配水池、大峰浄水場の順に現地を調査しました。

平成30年4月1日から伊良原ダム完全受水に伴い、3月31日をもって大峰浄水場は閉鎖となりました。

伊良原ダムが出来たことで、より美味しい水が川崎町に供給されるようになります。

当委員会は、きれいな水であっても、現在老朽化した水道管を通り各家庭に届けられている状況に、きれいな水は、きれいなまま住民の皆さんのところに届くよう、水道管の入れ替えなど急務であると考えます。

また、川崎水源地の施設は、定期的な清掃等管理を行っているという報告を受けましたが、錆や苔が生えている状況を確認し、飲料水でもあるので、もう少しきれいにして頂くよう指摘しました。



▲川崎水源地

### 町内道路を現地調査

農道から町道に変更を検討している路線など調査しました。

町道と町道を結ぶ間の農道や、周囲に田畑が無くほとんど一般車両の通行のみとなっている農道を町道にと検討中であると報告を受けました。

周辺に田畑があるところは、農道から一般道になった場合の道路交通法などが関係してきますので、事業が決定した場合には地域住民の方々と協議を行っていくと報告を受けました。

道路の一部に農道であるのか町道であるのか、はっきり所在の分からない部分があるとのことに、以前も

### 建設産業常任委員会

指摘していましたが、台帳の整備を確実に行って頂くよう言及いたします。

#### 伊良原ダムは今(場所:京都郡みやこ町犀川)



▲伊良原ダム

現在は、試験湛水中で、ダムに水をサーチャージ水位という一番上のラインまで溜めているところでした。この試験湛水は、ダムに水をいっぱい貯め水漏れや異常がないかをチェックするために行っているそうです。

できたばかりのダムを覗き込むと水は、きれいで透きとおっており、ダム周辺の景観もよく今後は観光光景所にもなるのではないかと感じました。

### 議会の傍聴においでください

#### 次回定例会予定

- ◎9月 4日…本会議(初日)
- ◎9月 7日…本会議(中日)
- ◎9月14日…本会議(一般質問)
- ◎9月18日…本会議(最終日)

川崎町議会ホームページ <http://www.gikai-kawasaki.com/>



## 統合中学校の通学路は

### 統合中学校に関する調査特別委員会

今回新しく設置される通学路について、歩道の道路が3メートルは少し広く工事費の軽減にもなるので、少し狭くと要望したところ、2.5メートルに変更となりました。さらに安全対策のための自転車通行帯の路面標示も行うようになりました。そして、新設道路と現行道路との取付部の安全対策を図るよう要望しました。また、現行の道路につきましては、歩道だけでなく、この部分の安全を守るためにもきちっとした方法を論議いただきたいとお願いしました。さらに、統合中学校完成後は、遠くから通学する生徒が増えるため、県道に自転車道の整備を行うことを要望しました。

#### 統合中学校の構造

統合中学校の構造が、RC構造に決まった経過については、全国の中学校の96%がRC構造であること、また、国の補助金の対応でRC構造となったこと、さらに、RC構造はコスト的に優れていることなどの説明を受けました。

#### 川崎中学校仮設校舎

川崎中学校の仮設校舎の現地視察を行いました。委員からは、教室や階段にナットやボルトが出ているところがあり怪我をするおそれがあるので、その対策

と、階段の手すりの高さが低く落下するおそれがあるため高くするよう、2点について要望いたしました。

次に、防音対策や暑さ寒さの対策について執行部から説明があり、防音対策については、校舎建設のときには防音防塵ネット等の設置を行い、工事機械についても可能な限り低振動低騒音のものを使用すること、暑さ寒さ対策については断熱効果を上げるため屋根の二重構造を採用いたしましたとの説明を受けました。

以上の報告を受け、委員会として協議を行い、窓ガラスを二重にするようにと要望しましたが、後日、教育委員会からは工期内の施行が難しいとのことと、入札の公正を保つため変更はできないとの回答を受けました。

#### 統合中学校についての情報

統合中学校に関する情報の開示が少ないと思われるので、説明会の実施や広報誌への記載を行い、積極的な情報の開示を行うよう、また説明会開催の場合は通知をお願いするよう要請しました。そういった検討委員会が開催される場合は、委員会から委員を派遣して更なる情報の集約を努めることとしています。



▲統合中学校仮設校舎

今回の  
主人公



同和保育所  
らいおんクラス

材木 沙耶佳 先生

毎年、同和保育所では6月の終わりころから七夕の飾りをつくったり、短冊に願い事を書きます！小さいお友達はおうちの人に願い事を書いてもらいますが、年長のらいおんクラスは自分たちで書きます。かわいい笹の葉が短冊でこどもも華やかになりました！

みんなの願い事が叶いますように…



追跡レポート

国民健康保険のカード化

世帯ごとに交付している国民健康保険の被保険者証について、同じ世帯の被保険者が同時に別の医療機関を受診する場合等に利便性が向上するよう、被保険者1人ごとのカード化実施を求めて寺田響議員から一般質問(平成29年度、9月定例会議)があり、行政の取り組みについて回答を求めました。

結果

- ①平成30年4月からの国民健康保険新規加入者についてはカード化済
- ②平成30年8月1日から川崎町全世界帯で国民健康保険カード化運用開始(7月中旬より随時発送予定)



編集後記

学生時代、施行は「しこう」施工は「せこう」と習いました。法律用語では、執行「しっこう」と紛らわしいので、施行は「せこう」とも読むが「しこう」が望ましい。と書かれています。施策は「しさく」としか読まないようです。気になったので調べてみました。



- 議長 北代俊雄
- 発行責任者
- 編集特別委員長 千葉加代子
- 副委員長 手嶋真由美
- 委員 松岡久代
- 委員 大谷清
- 委員 小田春
- 委員 寺田卓
- 委員 樋口秀隆